

日本社会福祉系学会連合

2020年度総会報告およびオンラインセミナー開催報告

日本社会福祉系学会連合 会長 湯澤 直美
事務局長 室田 信一

日本社会福祉系学会連合の2020年度総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の必要性から、対面による開催を避け、書面により実施されました。2020年6月5日～6月19日を総会議決権行使期間とし、期間中に提出された議決権行使書により議決を行い、決議の結果を公表しました。

本稿では、その概要を報告するとともに、オンラインセミナー開催状況についてお知らせいたします。

<総会報告>

I. 審議事項

第1号議案 2019年度事業報告および決算・監査報告について

2019年度事業報告について、ホームページの定期的な更新および年2回の日本社会福祉系学会連合ニュースの刊行による広報活動、公開研究会の開催に向けた調査の実施、災害福祉アーカイブ事業の実施、補助金制度の運用、運営委員会および総会の開催について提示された。また、2019年度決算報告について、概ね予算通りに執行された状況が示された。さらに、2019年の事業が適正に処理されたとの監査報告が示され、議案は承認された。

第2号議案 2020年度事業計画(案)および予算(案)について

2020年度の事業計画(案)として、運営委員会および総会の開催、加盟学会および会員等の活動に関する情報交換、加盟学会の活動に対する補助金制度の運用、公開シンポジウム等の開催、日本学術会議の活動に対する支援と協力、ならびに事務局の事務委託が提示された。また、2019年度予算を概ね踏襲した2020年度予算案が示され、議案は承認された。

第3号議案 役員・運営委員の交代について

役員任期満了に伴い、役員・運営委員の選出・委嘱がなされ、承認された。

II. 報告事項

報告事項として、「1. 加盟学会の2020年度の活動予定のホームページ掲載」「2. 災害福祉アーカイブについて」「3. 補助金制度の運用について」「4. 2019年度後援依頼について」各資料が提示された。

<オンラインセミナー開催報告>

日本社会福祉系学会連合では、2019年9月に開催された日本社会福祉学会秋季大会においてシンポジウム「多様性時代における研究支援と学会のあり方」を開催する予定でしたが、台風により延期となり、その後、2020年3月に東洋大学において公開研究会として開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となっていました。

この度、同企画を収録開催し、オンラインセミナーとしてYouTubeで無料配信することとなりました。報告者は昨年度から変わらず京都府立大学の中根成寿先生で、テーマは「障害学会の現状について」です。セミナー動画は約1時間で、中根先生による講演に続き、学会連合会長の湯澤と同事務局長の室田、同庶務担当理事の三宅先生による質疑が含まれています。セミナーの中で中根先生がお話されているように、新型コロナウイルスへの対応を機に、各学会が大会のオンライン化を進め、学会運営においても情報通信技術を活用するようになり、その結果、各学会の合理的配慮の取り組みにも変化が見られるようになったということです。学会運営に限らず、研究・教育の現場における合理的配慮のあり方を検討するためにも、是非ご視聴ください。なお、11月末日までセミナーの内容に関する質問を受け付けています。詳しくは学会連合ホームページをご覧ください。

また、動画の公開に合わせて、昨年度学会連合が加盟学会を対象に実施した、学会の合理的配慮と支援に関する調査結果をまとめ、中根先生の講演資料とともにPDFファイルを学会ホームページに掲載していますので、そちらもどうぞご参照ください。

日本社会福祉系学会連合ホームページ：<http://jaswas.wdc-jp.com/index.html>

